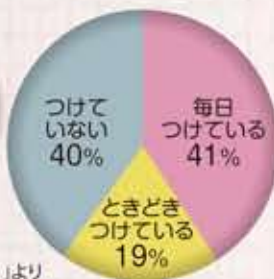


ざっくりでいいので家計簿の習慣を

本誌春号の読者アンケートで「家計簿をつけていますか?」とお聞きしました。回答いただいた方の集計はグラフのようになり、4割の方は「つけていない」状況です。確かに家計簿をつけるのは面倒ですし、赤字になれば気分的に減入ります。しかし、これからますます日本の財源が厳しくなる中、高齢期の暮らしも「なんとかなるさ」では済まなくなってきました。まずは、日々のチェックから始めてみませんか?

家計簿をつけていますか?



2015年春号「もも百歳」読者アンケート(n=2698)より

つけっぱなしはダメ

家計簿はつけているけど「つけているだけ」という人が少なくありません。月末には、収入と支出、できるだけ項目ごとにチェックしてみましょう。もしかしたら、ある項目だけ突出して多いということはありませんか?健康を損ねる節約はいけません、無駄を省くヒントが隠れているかもしれません。

昨年同時期との差は?

月末に収支を計算したら、前年同月と比較してみましょう。「去年よりずいぶん違う」と思ったなら、その原因を探ってみると、いろいろなことがわかります。「猛暑による電気代上昇」「冠婚葬祭の偏り」など、一種不可抗力の事情があれば、「やたらと外食に費やした」などの贅沢な出費が見つかるかもしれません。原因を探ってみるのは頭の体操にもなりますね。



それぞれの家庭で状況は異なるから一概に言えないけど、やはりしっかり家計チェックをしたほうがいいみたいだね

平均的には赤字だから、預貯金の切り崩しが必要になるのね



収入と支出のチェック

- ①家計簿をつけよう
- ②毎月の収支をチェックしよう
- ③前年同時期と比べてみよう

Point 1

総務省の家計調査年報(H26年)を参考にしてみましょう

高齢夫婦無職世帯

実収入	207,347
食料	60,869
住居	16,158
光熱・水費	21,042
家具・家事	9,788
被服・履物	6,940
保健医療	14,635
交通・通信	26,825
教養娯楽	25,977
交際費	28,749
その他	28,501
非消費支出	29,422
支出計	268,906
収支	-61,559

高齢単身者世帯

実収入	116,188
食料	33,052
住居	13,675
光熱・水費	13,800
家具・家事	5,182
被服・履物	4,344
保健医療	7,559
交通・通信	12,761
教養娯楽	15,494
交際費	20,760
その他	14,903
非消費支出	10,532
支出計	152,062
収支	-35,874

- 世帯主の平均年齢
夫婦 74.6歳
単身 75.8歳
- 持ち家率
夫婦 93.6%
単身 80.2%

非消費支出とは、税金や社会保険料

年に1度は

我が家の決算 をやってみよう!

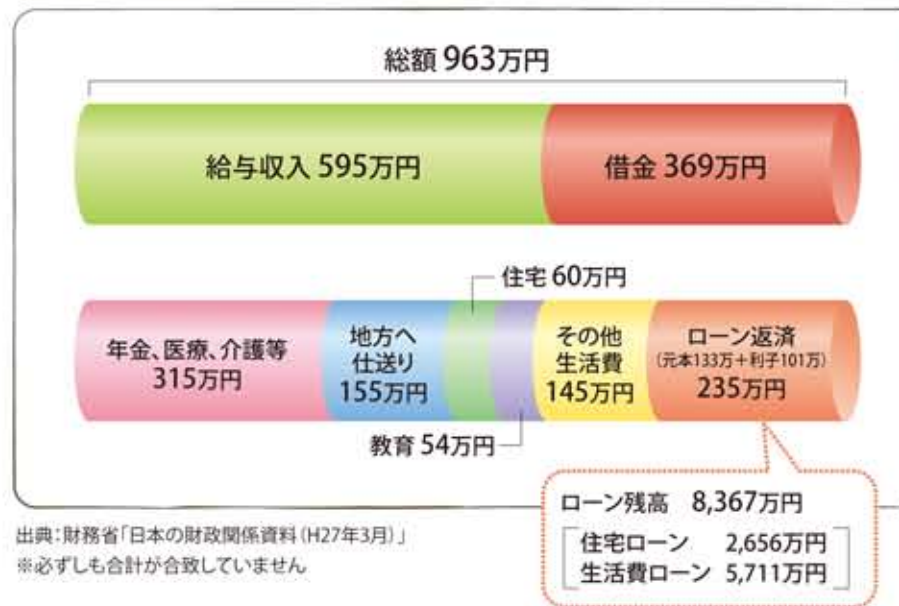
シニアのための
マネーレッスン

「決算セール」「決算大特価」など、「決算」という言葉は案外よく耳にしますね。誰もが聞いたことのある決算、企業は必ず年に1度決算をせねばなりません。自社の状況を把握する大切な機会です。この決算を、「我が家」でも毎年行ってみませんか?特にシニア世代は、次世代に引き継ぐためにも、把握しておきたい内容がたくさんあります。

※決算=1年間の儲けや損失、資産の状況などを一度区切って状況を確認すること



我が国の財政を家計に例えてみると…(国も毎年決算をしています)



出典:財務省「日本の財政関係資料(H27年3月)」
※必ずしも合計が合致していません

収入に対して借金が多すぎね!借金で借金を返しているみたいに見えるわ。しかも利息が多い!



一般家庭なら金融機関は融資してくれないだろうね。今後金利が上がったら利払いももっと増えるよ